

平成29年度病害虫発生予報第9号

長崎県病害虫防除所長

向こう1か月間における主な病害虫の発生動向は次のように予想されます。

農作物名	病害虫名	発 生 程 度	
		現 況	予 想
きゅうり	べと病	やや少	やや少
	うどんこ病	並	並
	褐斑病	並	並
	ミナミキイロアザミウマ	やや少	やや少
	コナジラミ類	やや少	やや少
トマト	黄化葉巻病	並	並
	コナジラミ類	並	並
	ハモグリバエ類	少	少
レタス	灰色かび病	並	並
	菌核病	並	並
たまねぎ	ネギアザミウマ	少	少
いちご (本圃)	うどんこ病	並	並
	灰色かび病	並	並
	アブラムシ類	並	並
	ハダニ類(注意報第9号)	多	多
ブロッコリー	黒腐病	やや少	やや少
	べと病	並	並
	コナガ	並	並

【発生予報】 本文の()内は平年値

きゅうり

1. べと病

(1) 予報内容

発生程度 やや少

(2) 予報の根拠

12月前期の巡回調査(11筆)の結果、発病葉率は0.1%(0.7%)、発生圃場率は18.2%(19.2%)であった。

2. うどんこ病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

12月前期の巡回調査(11筆)の結果、発病葉率は1.1%(4.7%)、発生圃場率は36.4%(47.3%)であった。

3. 褐斑病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

12月前期の巡回調査(11筆)の結果、発生を認めなかった(発病葉率0.2%、発生圃場率4.3%)。

4. ミナミキイロアザミウマ

(1) 予報内容

発生程度 やや少

(2) 予報の根拠

12月前期の巡回調査(11筆)の結果、発生を認めなかった(寄生葉率0.8%、発生圃場率15.5%)。

5. コナジラミ類

(1) 予報内容

発生程度 やや少

(2) 予報の根拠

12月前期の巡回調査(11筆)の結果、発生を認めなかった(寄生葉率0.7%、発生圃場率28.1%)。

トマト

1. 黄化葉巻病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

12月前期の巡回調査(11筆)の結果、発病株率は0.03%(0.2%)、発生圃場率は18.2%(18.8%)であった。

2. コナジラミ類

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

12月前期の巡回調査(11筆)の結果、寄生葉率は0.5%(1.7%)、発生圃場率は36.4%(33.5%)であった。

3. ハモグリバエ類

(1) 予報内容

発生程度 少

(2) 予報の根拠

12月前期の巡回調査(11筆)の結果、発生を認めなかった(被害葉率0.4%、発生圃場率12.6%)。

レタス

1. 灰色かび病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

12月前期の巡回調査(15筆)の結果、発生を認めなかった(発病株率0.0%、発生圃場率0.8%)。

2. 菌核病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

12月前期の巡回調査(15筆)の結果、発病株率は0.2%(0.2%)、発生圃場率は20.0%(21.7%)であった。

たまねぎ

1. ネギアザミウマ

(1) 予報内容

発生程度 少

(2) 予報の根拠

12月前期の巡回調査(15筆)の結果、寄生株率は0.8%(8.1%)、発生圃場率は13.3%(49.6%)であった。

いちご

1. うどんこ病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

12月前期の巡回調査(27筆)の結果、葉での発生を認めなかった(発病株率0.1%、発生圃場率2.3%)。また、果実での発生も認めなかった(発病果率0.01%、発生圃場率0.5%)。

2. 灰色かび病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

12月前期の巡回調査(27筆)の結果、発病果率は0.01%(0.04%)、発生圃場率は7.4%(6.9%)であった。

(3) 防除上注意すべき事項

- ア 하우스内が多湿にならないよう曇雨天や気温が低い日もできるだけ換気を行う。
- イ 被害果等の発病部位は伝染源となるので、早期に取り除きハウス外へ持ち出して適正に処分する。
- ウ 過繁茂は果実周囲が多湿になりやすく発病を助長するので、肥培管理を適切にする。
- エ 果実では、本病原菌はまず枯死した花弁や雌しべの柱頭に寄生・増殖した後、果肉に侵入する。そのため、「さちのか」に比べ花弁が落ちにくい「ゆめのか」では、咲き終わった花弁は極力除去する。
- オ 予防的な薬剤防除に努める。曇雨天が続く場合はハウス内湿度が上がるのを防ぐため、くん煙剤を利用する。

カ 薬剤耐性発達防止のため、同一系統の薬剤を連用しない。

3. アブラムシ類

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

12月前期の巡回調査(27筆)の結果、寄生株率は0.4%(1.5%)、発生圃場率は11.1%(14.8%)であった。

4. ハダニ類

平成29年12月18日付け、**病害虫発生予察注意報第9号**による。

ブロッコリー

1. 黒腐病

(1) 予報内容

発生程度 やや少

(2) 予報の根拠

12月前期の巡回調査(12筆)の結果、発生を認めなかった(発病株率0.8%、発生圃場率9.5%)。

2. ベと病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

12月前期の巡回調査(12筆)の結果、発生を認めなかった(発病株率0.05%、発生圃場率1.2%)。

3. コナガ

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

12月前期の巡回調査(12筆)の結果、寄生株率は4.3%(7.4%)、発生圃場率は50.0%(47.5%)であった。

【参考】

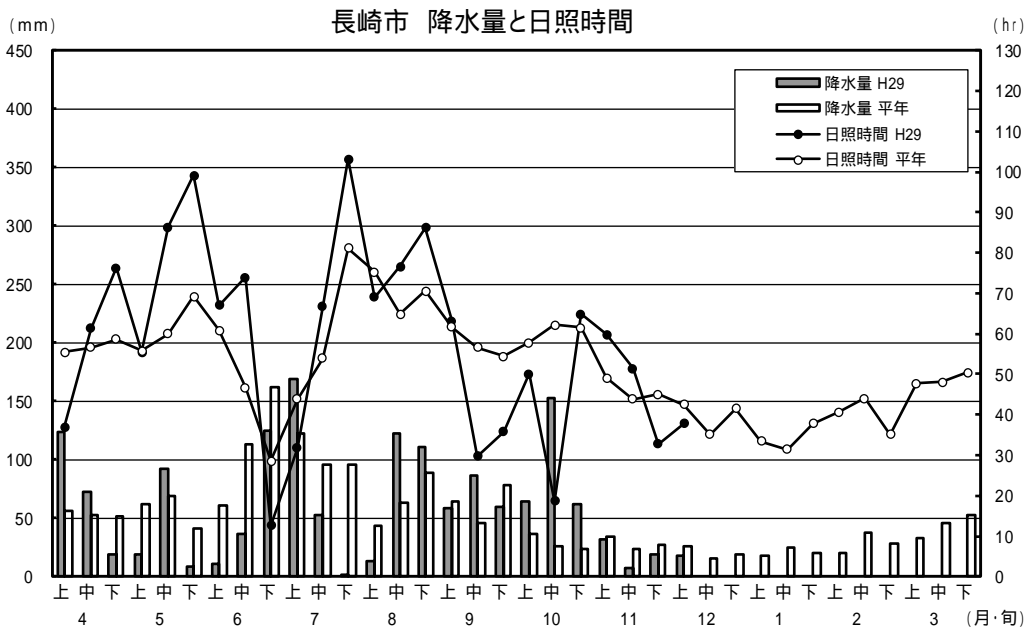
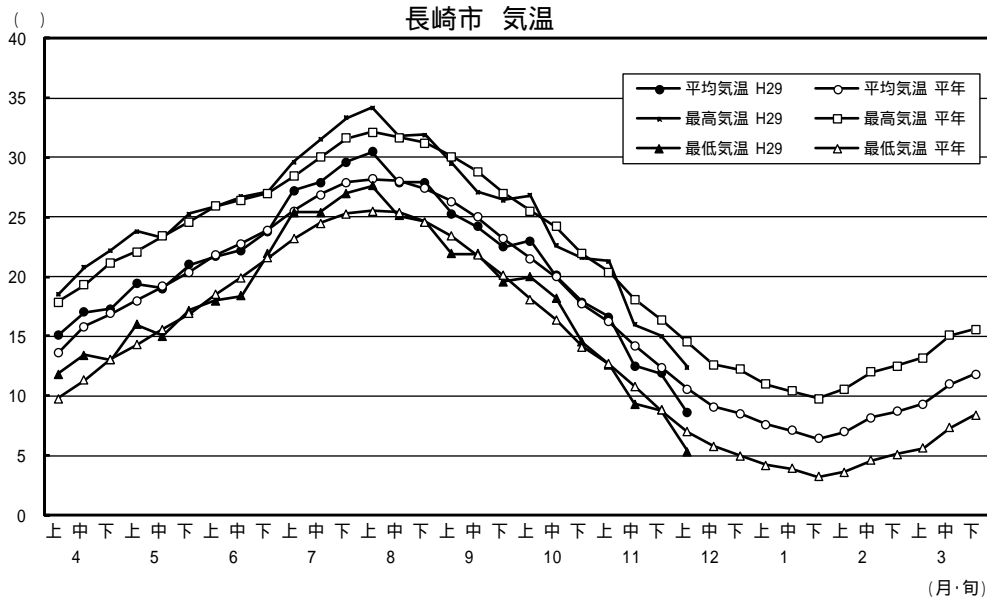
気象 (平成29年12月14日発表 1か月予報 福岡管区气象台)

要素別確率

要素	低い (少ない)	平年並	高い (多い)
気温	50	40	10
降水量	40	40	20
日照時間	30	40	30

予報対象地域：九州北部地域

平成29年度の気象経過 (長崎地方气象台)



長崎県病害虫防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。
 「長崎県病害虫防除所ホームページ」 アドレス：<http://www.jpnp.ne.jp/nagasaki/>
 この情報に関するお問い合わせは、電話でお願いします。

長崎県病害虫防除所 TEL：0957-26-0027

